

- ◆ 2022年6月22日発行ラインナップ
- ・ 地方自治体でも肥料高騰対策に緊急支援事業動き出す
- ・ 日本三大祭りのひとつ「祇園祭」

地方自治体でも肥料高騰対策に緊急支援事業動き出す

～拡散希望 肥料利用者に周知 PR しよう！

前号では全農の秋肥価格について過去にない最大の上げ幅を発表した内容を掲載した。合わせて国が取った肥料高騰対策では、予備費を活用した肥料高騰対策支援事業も紹介させて頂いたが、本号ではその後の国や与党、全国の地方自治体の一連の動きについて肥料高騰対策に伴う補助支援施策を続々と発表しているのご紹介したい。まず、国は4月20日に総合緊急対策として1兆円の「地方創生臨時交付金」の拡充を発表した。この交付金の適応内容は「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」が対象とされており自治体独自の判断で様々な事業に充てる事ができる。地方自治体から国へのこの補助金適用申請は7月29日までとなっているため読者の皆様も機会を逸さないように地元働きかけを行い、更には申請が可能となった地域においては農家の皆様に漏れなく周知を促して頂きたい。次に与党の動きをお伝えしよう。5月9日に自民党は食料安全保障の強化に向けた提言（中間とりまとめ）を公表している。総合緊急支援の着実な実施として予備費を活用した秋肥の価格低減に利用されたが、その他に緊急対策として調達国の多角化により肥料原料の安定調達や肥料コスト低減の取組の支援を挙げている。さらに肥料が「食料安全保障予算」の位置づけとして次回の経済対策・補正予算等に盛り込んで「思い切った対策」として緊急的に実施すべきと提言している。具体的には肥料の安定確保体制の構築、国内資源の有効活用と題して①肥料の価格影響緩和対策の仕組みの創設をはじめ、燃料・肥料・飼料の高騰・高止まりに向けた対策を拡充、継続支援②調達国の多角化等に向けた体制整備に加え、国内での代替原料の利用拡大、堆肥・稲わら等の利用拡大・広域流通に向けた抜本的な体制構築、肥料原料の備蓄等を支援するとされている。また、肥料関連ではみどりの食料システム戦略（カーボンニュートラル）の推進としてスマート農業技術を活用した化学肥料・農薬の削減等に向けた産地・農業者の取組への直接支援を強化と記している。肥料高騰した際の支援予算は食料安全保障予算プラス一般予算やTPP等関連予算で予算化を目指す事が記されている。

最後に地方自治体・系統における肥料高騰に関する補助政策について具体的な動きがあった先をご紹介していこう。まず、5月30日に福岡県において肥料高騰緊急対策事業として令和4年6月から令和5年3月までに購入かつ投入される肥料に対して高騰する肥料代の上昇分の1/2の補助率を打ち出した。続いて6月1日に福井市と越前町において令和4年度 農業肥料購入緊急支援事業補助金として主食用米においては10aあたり2,000円最大30万円、主食用米以外の作物で令和4年1月1日より12月31日までの期間に肥料を2万円以上購入しかつ自らが栽培した作物の出荷実績のある方で購入した肥料費の10分の1以内。上限額として最大30万円を補助するとして。同日にホクレンは独自の積立金の取り崩しを行い令和4肥料年度肥料価格について系統利用者に対して61億円の「系統独自早期原料手配メリットおよび激変緩和対策」を実施したとプレスリリースされており、前年対比102%の値上げから平均78.5%の値上げに抑制したと報告している。また、北海道も独自に協議会を設置し予算額として財源は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して20億円、トン当たり3,125円の化学肥料購入支援の検討に入った。続いて岩手県盛岡市では肥

(次ページへ続く)

越前町 農家支援のご案内

高騰している肥料の購入費を補助します

① **水稲全般** (主食用米以外をふくむ)

補助金額	2,000円/10a
対象者	越前町内に住所を有する 水稲作付10a以上の方

② **水稲以外** (麦・大豆・そば・野菜など)

補助金額	肥料購入費の10分の1
補助上限額	30万円
対象者	越前町内に住所を有する 出荷販売農家

- JA組合員のみなさまは8月に詳細をご案内します。
- JA組合員以外の方は個別にお問い合わせください。
- ②水稲以外の肥料の購入と作物の販売は伝票での確認となりますので、購入伝票・販売伝票を保管しておいてください。
- ※令和4年1月1日から令和4年12月31日までに、申請者自らが栽培するために購入した肥料が対象です。
- ※JA以外で購入した肥料も対象となります。

【お問い合わせ先】
 JA福井県丹生基幹支店営農部 0776-98-2826
 越前町役場農林水産課 0778-34-8704

例) 福井県越前町のPR資料より

(前ページより続く)

料の購入費の13%を補助する補正予算案を開催中の市議会6月定例会にて追加提案される見通しだと発表している。宮崎県綾町でも6月開催中の議会において補正予算案として燃料費や肥料高騰対策として4,190万円の予算計上が盛り込まれている。千葉市においても今月開催される議会において昨年購入した肥料のうち10%分にあたる経費を最大200万円まで経費補助する支援を決め今月開催される市議会において審議される予定だ。6月開催中の議会において続々と議題に上がってきているがお住まいの地域においてはどのようになっているのかチェック頂きたい。日本では残念ながら肥料原料資源となるものは石灰や苦土くらいしかない。主要3要素肥料の原料は海外に産出国が偏在化している事から産出国の資源政策による輸出制限やウクライナ侵攻のような有事の際には肥料原料は外交における戦略物資と化す、と発信し続けてきただけにようやく政治の方でも理解いただけたかと思うと当編集局としても感慨ひとしおだ。お読みくださりました皆様、拡散希望ですので是非ともご協力お願いいたします！

日本三大祭りのひとつ「祇園祭」

夏が近づき、ジメジメとした暑さが続く季節となって参りました。夏といえば皆さんは何を思い浮かべますか。誰もが思い浮かべるのは「お祭り」だと思われます。今回は日本三大祭りのひとつ「祇園祭」をご紹介します。

祇園祭の開催期間は7月1日～31日の1ヵ月間で、この期間内にさまざまな祭事が行われます。今からおよそ1,100年前、京都では疫病が流行し、京都に住む人々は祇園社（現在の八坂神社）に祇園の神様を迎えた神輿3基と66本の矛を立てて御霊会を行い、疫病の退散を祈願したのが始まりとされています。7月が近づく祇園囃子が京都に鳴り響き今年も祇園祭がやってきたのだなと思わせてくれます。祇園囃子とは鉦の上で能や狂言を演じていたことの名残とも言われていて、太鼓・笛・鉦の三つで構成されています。そんなお囃子は疫病のもととされる悪霊をおびき寄せる為の重要な役割を担っています。お囃子を奏でることで悪霊たちを誘い、楽しい雰囲気の中でその日のうちに鉦町へ持ち帰り、蔵に封じ込めることで人々を守り続けているそうです。そんな歴史ある祇園祭が目玉となるのが山鉦です。山鉦は全部で33基あり、それぞれにご神体が祀られ様々なご利益があるといわれています。その高さは地上約15メートルで重量は約1.2～1.6トン。1本の釘も使わず縄だけで組み上げられており、大工方によって仕上げられます。そんな鉦の中でもひととき目を引く鉦がこちらです。蟬螂山（とうろうやま）は、「蟬螂（かまきり）の斧を以て隆車の隧（みち）を禦（ふせ）がんと欲す」という中国の故事にちなみ、その起源は南北朝時代で足利義詮軍に挑んで戦死した当町在住の公卿、四条隆資の戦いぶりが「蟬螂の斧」のようであったことから、渡来人の陳外郎大年宗奇が卿の死後25年目の永和二年、四条家の御所車にその蟬螂を乗せて巡行したのがはじまりといわれています。この他にも様々な鉦がありそれぞれに由来や歴史があります。そういった歴史のある鉦を観覧できる、山鉦巡行が前祭（23基の山鉦）は7月17日に、後祭（11基の山鉦）は24日に行われます。巡行前3日間は宵山といい、それぞれの町に建つ山鉦を観覧する人で町は賑わいを見せます。そんな鉦をゆっくりと安全に見ることができ有料観覧席も設けられており一般販売もされていますので、ご興味のある方はぜひご確認してみてください。また、宵山には「屏風祭」と言われる風習があり、山鉦町の旧家では表の格子を外し、秘蔵の屏風などを飾り付けた座敷を開放する「屏風飾り」が行われ、宵山の楽しみの一つとなっています。新町、室町、六角通などを歩けば思いがけないところで屏風祭を見ることができ、燈籠の灯りなどで演出された京町家の夜の情緒も楽しむことができます。お祭りには深い歴史があり、たくさんの職人や京都に住む方々の想いが込められた大切な伝統となっています。是非皆様も一度京都に足を運んで祇園祭を存分に楽しんでみてください。（大阪支店）



出典：祇園祭 蟬螂山保存会公式HP